

◆ 不適合とは、法律等で報告が義務づけられているトラブルや、設備の点検で見つかる機器の故障など、発電所の設備や業務の安全性及び信頼性の確保に必要な要求事項を満たしていない状態をいいます。

2025年11月14日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分Ⅰ： 該当なし

区分Ⅱ： 該当なし

区分Ⅲ： 該当なし

その他： 10 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	2号機	換気空調系タービン建屋給気ファン(B)点検後の試運転時に、電動機(水平方向)の振動値が点検前に比べ上昇していることが認められたため、当該ファンを停止ならびに点検・修理。	GⅢ	11月11日
2	2号機	換気空調系タービン建屋給排気ファン出口風量指示調節計において、指示値不良(点検のためタービン建屋空調を停止しているにもかかわらず風量指示値が残っている)が認められたため、当該計器を点検・修理。	GⅢ	11月11日
3	2号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)気水分離器ドレントラップ点検時に、ドレントラップ入口弁にシート漏えい(空気)が認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、当該弁は開運用のため、系統機能に影響はない。	GⅢ	11月12日
4	2号機	非常用ディーゼル発電設備(A)換気空調系給気ルーバーにおいて、ルーバー固定枠(屋内側)の一部に破損(金属板の外れ)が認められたため、当該固定枠を点検・修理。 なお、換気空調系の運転状態に異常がないことから、機能に影響はない。	GⅢ	11月13日
5	2号機	非常用ディーゼル発電設備(B)換気空調系給気ルーバーにおいて、ルーバー固定枠(屋内側)の一部に破損(金属板の外れ)が認められたため、当該固定枠を点検・修理。 なお、換気空調系の運転状態に異常がないことから、機能に影響はない。	GⅢ	11月13日
6	2号機	非常用ディーゼル発電設備(H)換気空調系給気ルーバーにおいて、ルーバー固定枠(屋内側)の一部に破損(金属板の外れ)が認められたため、当該固定枠を点検・修理。 なお、換気空調系の運転状態に異常がないことから、機能に影響はない。	GⅢ	11月13日
7	3号機	試料採取系放水口モニターの巡視時に、吸水ホース(2本中1本(待機側))が外れていることを確認したため、新規に吸水ホースを取り付けるとともに原因調査・対策検討。 なお、残りの1本(運用側)については異常がないことを確認。	GⅢ	11月7日
8	1・2号廃棄物処理設備	1号機廃棄物処理補機冷却海水系ポンプ(A)位置保持型スイッチにおいて、動作不良(引き保持位置で引き操作ができない)が認められたため、当該スイッチを点検・修理。 なお、当該ポンプの操作(運転、停止)は可能。	GⅢ	11月12日
9	3・4号廃棄物処理設備	廃棄物固化系窒素製造装置において、「固化系機器排気フィルタユニット酸素濃度高」及び「窒素製造装置酸素濃度高」警報が発生。現場確認したところ、吸着塔(B)空気入口弁が全閉のまま動作していないことが認められたため、当該弁を点検・修理。	GⅢ	11月11日
10	その他	一次水処理設備純水装置(B)陽イオン樹脂塔(H塔)差圧指示計(B)において、指示値不良(検出・発信された数値が正常にプロセス計算機側に出力されない)が認められたため、当該計器を点検・修理。 なお、現場の差圧指示計は正常な値を確認できるため、系統機能に影響はない。	GⅢ	11月12日